

自転車レーンの設置など自転車利用環境向上施策

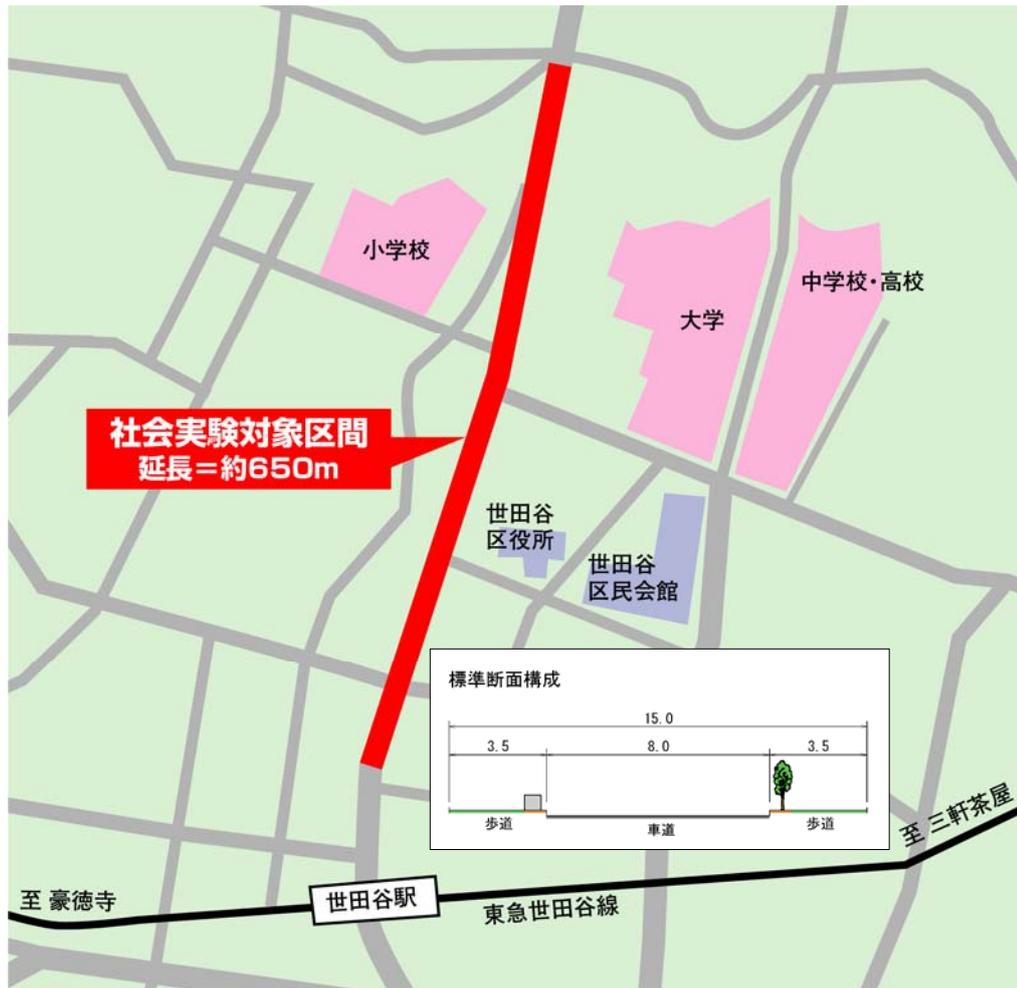
【施策の概要】

歩道上での自転車の速度抑制方策や車道上の走行レーンを活用した通行スペースの確保に関する実験を実施し、安全の向上効果などを検証します。

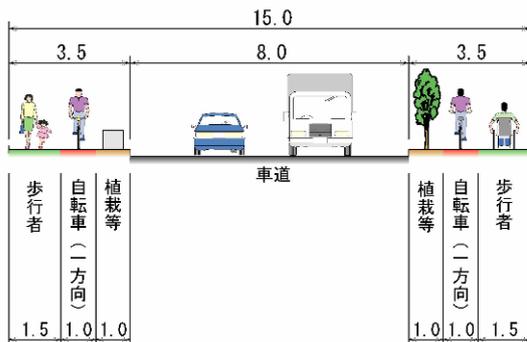
【代表事例】

東京都世田谷区：道路空間の再構築による安全な自転車走行環境の創出社会実験

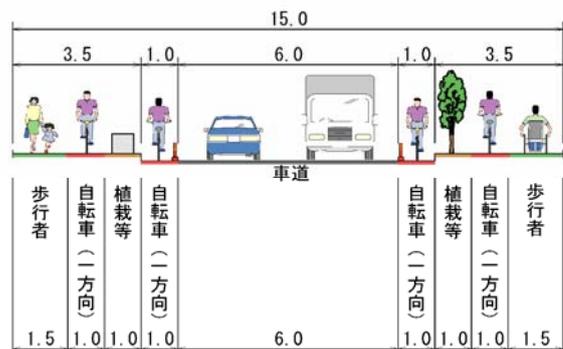
幅員が狭く、自転車と歩行者が錯綜している道路において、歩道上で自転車の一方通行を促す実験を行うとともに、自転車レーンの設置を行います。



【実験 1】自転車一方通行を促す実験



【実験 2】自転車レーン設置



歩行空間の確保など歩行者優先施策

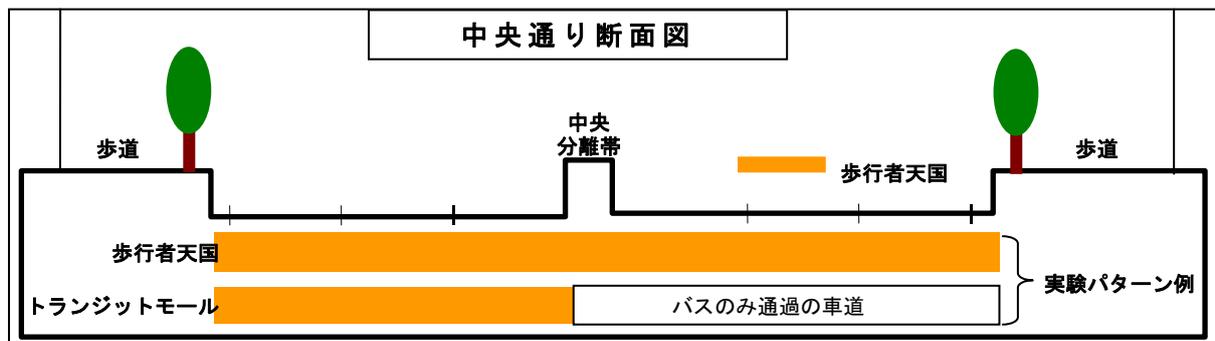
【施策の概要】

車優先の道路から歩行者優先の道路への再構築を図るため、現状の幅員での歩行空間の確保やトランジットモールなどに取組みます。

【代表事例】

大分県大分市：地域において持続可能な歩行者天国の実施社会実験

中心市街地の道路において、トランジットモールを試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行います。



通り名・位置番号方式による道案内システム

【施策の概要】

日本の住所表示は「街区方式」であるため、欧米の「道路方式」と比較して、観光客や外国人など地域に不慣れな人にわかりやすく案内をすることが難しい状況であるため、通り名と位置番号を組み合わせた「通り名・位置番号方式」を試験的に実施することにより、その実施効果・合意形成・効率的な案内方法などの課題を検証します。

【ねらい】

通り名と位置番号を使って、案内したい場所をうまく特定できるルールを作り、地域に不慣れな人に対して分かりやすく道案内ができるようにすること。

○ 場所を特定するルール（通り名・位置番号方式）

- ・ 通りに名称を付ける。
- ・ 通りの起点から10m単位の概ねの距離を位置番号とし、起点を背に右側に奇数番号、左側に偶数番号を表示する。

【取組みイメージ】

通り名マップ、通り名で道案内、現地標示 の3点セットで分かりやすく道案内

通り名で道案内

和菓子店

創業天保元年 本家の歴史の味を中興して百七十年
和菓子は千年以上もの歴史がありその地方の風土、風習に育まれてきました。
ご来店には是非長崎の味をお楽しみ下さい。

長崎へお越しの際は、めがね橋の近くにある
和菓子の老舗『○○和菓子店』へお立ち寄り下さい。

●生菓子 各1個100円
●あんこ 各1個100円
●水ようかん 各1個100円
●お茶会 サービス1900円～
●練乳菓子 各450円～
●高級お茶会 サービス1900円～

○○和菓子店
住所：長崎市古川町1-10
(川端通り6)
営業時間：10:00～20:00
電話：(095)123-667
定休日：毎週日曜

(HP、チラシでの活用イメージ)
住所に「通り名による道案内」を併記

(電話での活用イメージ)
「当店は、『川端通り6』にございます。」

通り名標識に位置番号を添架

現地表示

起点から概ね60m

起点

起点から概ね150m

【代表事例】：宮崎県日南市：「道」と「通り名」を通じた地域情報提供の高度化社会実験